

令和6（2024）年度事業計画書

1 新規・重点事業

(1) 社会や時代の要請を踏まえた取組み

ア 利用者サービスの向上に向けて

- ・多様なニーズを踏まえた新たな墓地提供
小区画墓地、一人墓地の検討
- ・和墓地の参道の整備
高齢者や足が不自由な方、車椅子利用の方々の歩行等に支障を来している砂利敷きの和墓地参道の整備方法の検討と設計、施工
- ・墓参が難しい利用者向けの新たな事業
オンラインでの墓参りの研究

イ 霊園環境の整備に向けて

- ・霊園内擁壁の詳細な強度診断の実施
大規模地震などの災害に備えT区画奥の擁壁をはじめとした霊園内擁壁の詳細な強度診断を実施
- ・和墓地の参道の整備（再掲）
- ・転落防止柵の設置
高低差のある擁壁際に、転落防止も兼ね植樹した樹木に替え安全なアルミ製転落防止柵の設置に係る設計、施工
- ・合祀墓の新設について検討
現在の合祀墓の埋蔵状況と今後の需要を踏まえ、合祀墓の新設について検討
- ・四季折々に開花する花木の植樹
- ・無縁墳墓の整理

ウ サステナビリティ（持続可能性）に向けて

- ・EV充放電機器の設置
災害などによる停電時に、令和4年度に配備したEV自動車の蓄電池から給電する機器整備(神奈川県補助金を活用予定)
- ・紙媒体の顧客情報をデータ化し遠隔地でバックアップ
データ化と遠隔地でのバックアップによる顧客情報の安全管理（BCP）

エ DX（デジタルトランスフォーメーション）に向けて

- ・紙媒体の顧客情報をデータ化し遠隔地でバックアップ(再掲)

(2) 収入の確保に向けた取組み

- ・多様なニーズを踏まえた新たな墓地提供（再掲）

- 小区画墓地、一人墓地の検討
- ・各種手数料等の改定に向けた検討
- 斎場使用料、納骨手数料等の手数料、墓地使用料、霊園管理料

(3) ⑨開園 60 年事業の実施

令和 6 年 5 月に当霊園が開園 60 年を迎えるので、これを契機に、霊園を取り巻く環境の変化に対応した事業の充実・強化、組織風土の改革に取り組む。

- ・「樹木墓地ゾーン」の整備（愛川）
夫婦墓地・合祀墓・合葬墓を兼ね備え、多様な花木で構成され独立した、最近、人気のあるプレミアム感のある樹木墓地を整備
- ・60 年「記念」商品の販売
60 年記念限定の新規建売墓や、返還墓地を活用し割安感のある建売墓として販売
- ・広報の展開（60 年の周知、認知度の向上）
HP の刷新（60 年特設ページを含む。）、DVD・リーフレット等の作成
- ・休憩用ベンチ・タープテントの設置（愛川）
- ・園内循環車の運行（愛川）
無料送迎バスの発着に合わせた園内循環車の運行
- ・四季折々に開花する花木の植樹（再掲）
植樹の基本計画を策定し、順次、実施
- ・C I の展開
60 年ロゴマークを定め、いろいろな場面で活用
- ・D X（デジタルトランスフォーメーション）の推進（再掲）
紙媒体の顧客情報をデータ化し遠隔地でバックアップ等
- ・中期的な経営ビジョンの策定
財団のミッション、ビジョンや重点的な取組方針の策定
- ・人事制度の改善
- ・永年勤続者表彰の充実
- ・60 年記念品の配布

(4) その他(働きやすい職場環境に向けて)

- ・ベースアップの検討

2 事業計画(新規・重点事業を除く)

(1) 相模メモリアルパーク（愛川）

ア 墓地提供事業

当園の昨今の墓地需要動向は、社会情勢の変化から、墓地を永代に渡り維持していくというものだけではなく、一代限りの墓地使用という傾向も見受けられるようになっている。

こうした墓地需要の多様性を考慮し、普通墓地、芝生墓地、グリーン墓地や低廉な 1 m²墓地などの墓地提供に併せ、承継者のいない方のニーズに対応した壁墓地、合祀墓及び合葬墓「やすらぎの苑」を提供していく。

さらに、承継者が不在で一般的な墓地購入を躊躇されている方のニーズに応える新たな選択肢として、自分の墓地として 20 年間使用し、その後合祀墓又はやすらぎの苑に改葬する「期限付き墳墓」の販売も行っていく。

なお、永代使用墓の令和 6 年度の提供予定面積は、販売実績の長期低落傾向等を踏まえ、238 m²を予定している。

イ 墓地等の維持管理事業

○ 霊園環境整備

霊園の維持管理については、全体の環境保全を重視し、花と緑が織りなす公園墓地として、グリーン墓域・芝生型墓域・和型墓域のそれぞれの特性を活かして、常に墓域の清潔感が保たれるよう霊園の管理に努めていく。

また、霊園設備の不具合の発生に対しては、適時メンテナンスを実施していく。

○ 霊園管理料徴収事務

管理料は、霊園の健全な運営と永続性を支える大事な資金であるので、管理料滞納者に対して定期的に電話や手紙での督促を実施し、また、墓参時に滞納者に周知できるよう墓地に立札を立てるなど対応していく。

また、利用者には、引き続き口座振替への切替えをお願いしていく。

(2024 年 1 月末現在、口座振替登録者の比率 76.7% (2021 年 3 月末は 67.6%))

○ 預り保証金返済事務

預り保証金を墓地永代使用料に充当していく事務で、未処理となっているものの解決に向けて引き続き取り組んでいく。

ウ 墓地附帯施設等の管理運営事業

○ 納骨の受入れ

納骨は、遺骨がご遺族のお手許から離れ、お墓に埋蔵されるという一連の葬儀の中でも重要な儀式であるので、厳粛な業務の進行に努める。

○ 斎場、会席室の提供

墓地使用者及び墓参者、来園者に対し、行き届いたサービスの提供に努める。

斎場 2 室、会席室 (洋室 5 室) 等の建物の管理は、定期的な厨房器具の衛生管理を徹底して行うとともに、防災器具を初めとした施設、設備の点検を実施する。

○ 法事、卒塔婆等の紹介

法事における利用者の利便に供するため、僧侶や神官の紹介、卒塔婆申込みの受付や葬儀においての寺社紹介、会席室でのお食事の提供を行う。

○ 墓石及び供花等の販売委託

墓石、供花（花・柵・しきみ）等の販売を指定墓石工事業者に引き続き委託する。

エ 長期修繕・改修計画に基づく事業への取組み

昭和39年（1964）年の墓地造成から50年余が経過し、擁壁や樹木、建築物等の経年劣化や諸設備の不具合に伴う支障が散見され、擁壁などの基盤の再整備や建築物の修繕や建て替えに加え、サービス機能の向上を図る必要があることから、平成28年（2016）年に今後の70年を見据えた長期修繕・改修計画を策定した。厳しい経営状況下だが、この計画に基づいて必要な資金を着実に積み立てられるよう、収益の確保に努めていく。

令和6年度は、昨年度設計、施工を実施できなかった和墓地の参道の整備、及び転落防止柵の設置の設計、施工を行うとともに、擁壁の強度の診断を行う。

また、花と緑が織りなす公園墓地にふさわしい植栽の検討と樹木墓地ゾーンの植栽を併せて実施する。

オ 無縁墳墓の整理

管理料の長期滞納や清掃等の管理がなされていない明らかな無縁墳墓について、墓埋法施行規則の規定に基づいて改葬の手続きにより整理を続けていく。

(2) 湘南森林霊園（秦野）

ア 積極的な営業の推進と知名度向上に向けた取組み

営業開始7年目、通年営業6年目を迎えることから、「湘南森林霊園の経営方針」に従い、より積極的な営業を行っていく。

特に、湘南森林霊園の知名度を上げる必要があることから、地元を中心により多面的、戦略的な営業推進、広報、広告宣伝を行っていく。

とりわけ、23年度において基数限定での建売り墓所の廉価販売が好調であったことから、価格低下による霊園のイメージダウンにつながらないように留意しつつ、建売り墓所の販売を継続していく。

さらに、一昨年度から実施している「秋の星空観察会」や昨年度から実施している「写経教室など、実際に霊園を訪ねていただくキャンペーンを継続して知名度向上を図っていく。ちなみに、これらの企画は無料で実施していることから、地元の公民館、児童館、スーパーマーケットなどの掲示板にチラシを掲示させていただいている。

イ 「永代供養墓」の積極的な営業展開

「永代供養墓」については、墓地購入希望者の多様なニーズを踏まえて合祀墓、合葬墓、家族墓地（2体用及び4体用）及び期限付き墳墓（基本20年間）の提供を引き続き行っていく。

多種にわたる永代供養墓個々について周知を図り、より積極的な営業を展開していく。

ウ S P C委託業務の適切な監督と督励

S P Cに委託している霊園の運營業務及び維持管理業務について、その執行に遺漏のないように監督、督励していく。同じく事業委託している霊園の各種サービス事業についても、墓地使用者のニーズに合わせた良質なサービスが提供されるように監督、督励していく。